



秋厚労ニュース

考えよう 地域医療のあり方

全厚労 医療研究集会

来る11月16日(金)~18(日)、静岡県静岡市で全厚労第35回医療研究集会が開催されます。職員の働きがいや「住民とつくる地域医療」を考える濃厚な3日間になりそうです。

第35回 全厚労医療研究集会

住民とともに協同組合医療運動を復興させよう

2018年

11月16(金)日~18(日)日

静岡市民文化会館など

今回のテーマ「**離職が止まらない**」のはなぜ？
一緒に考えよう**地域の未来(こと)**

全体集会

学習報告&全体討論「秋田県鹿角地域で住民とともに運動して学んだ医療労働者としての教訓・課題」

分科会

- ① 医療労働者と地域とのかかわり
- ② 仲間(職場・地域)とつながり「働きがい」を見出そう!
- ③ 病院を地域に開く
- ④ いのちを守る厚生連の役割

全国の厚生連病院では職員「離職」も続いていきます。医療はそこで働く職員がいなければ成り立ちません。離職が続けば技術や知

第35回集会のサブテーマは「『離職が止まらない』のはなぜ?一緒に考えよう地域の未来(こと)」。

背景を深める

全厚労医療研究集会は「住民とともに協同組合医療運動を復興させよう」というテーマで毎年開催しています。

相次ぐ厚生連の病院譲渡・解散

全国の厚生連では病院譲渡・解散や人件費削減提案が相次いでいます(下表)。日本政府は1980年代を転機に、医療など社会保障

「厚生連の危機」を跳ね返すには、職員の労働条件を守る運動とあわせて、住民と一緒に地域医療を守る運動が必要です。厚生連は、裕福な人しか

厚生連は「地域住民の病院」

医療を受けられず無医村が多かった時代に、貧しい農村に医療を普及させようと運動したことが始まり。その創立の経緯から「地域住民の病院」という

性格を強くもちます。住民と一緒に医療について考え、運動することは、本来の厚生連医療のあり方そのものです。

「厚生連の危機(病院譲渡・解散、人件費削減など)」

県	内容
秋田	2008年「年末手当1.0ヶ月」提案、2009年「湖東総合病院廃止」報道
石西(島根)	2008年自己破産
栃木	2013年までに3病院を譲渡、解散
埼玉	2016年に2病院を譲渡、解散
茨城	2016年「年末手当0.5ヶ月・退職金積上げ3年間停止」
新潟	2013年第2組合結成、賃金大幅削減提案

識の継承が困難になり、職員の入れ代わりが激しくなれば教える立場の職員も疲弊します。

集会では、「離職」の背景に何があるのかを探り、働きがいをもてる職場・地域医療づくりについて、みんなで考えます。

部分参加も可能

どうしても全日程参加できない場合は、部分参加も可能です。全国の取り組みに学ぶとともに、自分の県・病院の良さを再発見する機会にもなるはずです。